

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月30日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18310
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第3節 男女共同参画社会づくりの推進	評価担当課	男女共同参画課
施策名	男女平等意識の醸成	課長名	木村 文江

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

「さがみら男女共同参画推進条例」及び「さがみはら男女共同参画プラン21」に基づき、男女の人権が平等に尊重され、個性と能力がを十分に発揮できる男女共同参画社会をめざし、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣行等の見直しに向けた様々な意識啓発に努めるとともに、男女平等教育を推進する。
 施策の実施にあたっては、男女共同参画推進員の参画を得て、「女と男のいきいきフォーラム」の開催や、情報誌「と・も・に」の発行等を通じ、普及・啓発を行なっている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		3,071	
人件費		1,127	
市民一人あたりの事業費	7	6	
合計	4,290	4,198	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

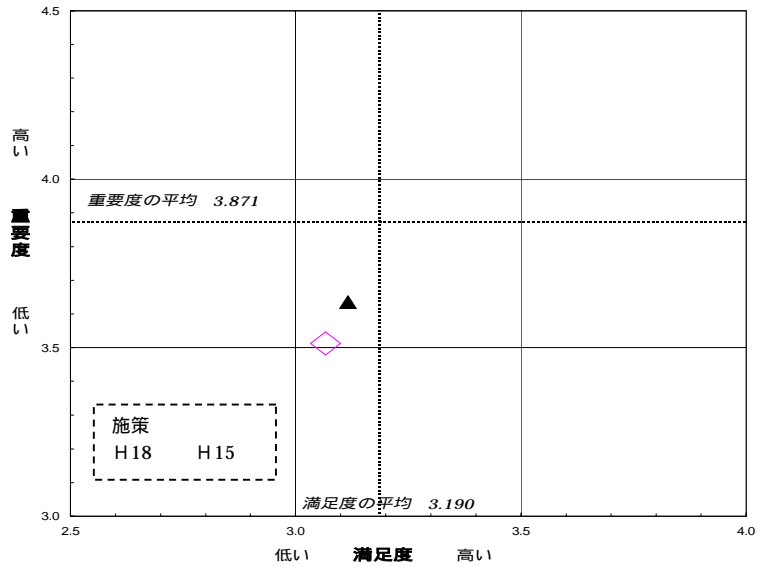
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	事業への参加率 参加者数÷募集定員×100	講座等へ定員に対する参加率により、事業に対する市民のニーズをはかる。	71.7%	17
指標2	事業への男性参加率 男性参加者数÷参加者総数×100	事業への男性参加率により、男性に対する啓発の効果をはかる。	17.8%	17
指標3	事業の参加者の満足度 「よかった」と回答した人数÷アンケート回答者数×100	講座等への満足度により、啓発の効果をはかる。(講座の参加者アンケートより)	90.8%	17
指標4	男女共同参画プラン21実施状況 実施済事業数÷総事業数×100	男女共同参画プラン21の実施状況を、施策の推進状況ではかる。	93.2%	17
指標5	男女平等意識度 男女平等と思っている市民の割合	男女平等意識度により、男女共同参画推進の度合いをはかる。(当課が実施している「市民意識調査」より)	35.3%	14

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	74.5	19	募集定員に対する参加者の割合が17年度実績の5.0%の増加。(76.7%)	21	募集定員に対する参加者の割合が19年度実績の5.0%の増加。(81.7%)	ここ数年の募集定員に対する参加者の割合を推移を勘案し、10%(年2.5%)の参加率の増加を見込む。
達成率	96.2					
指標2	20.7	19	事業への男性参加者の割合が17年度実績値の5.0%の増加。(22.8%)	21	事業への男性参加者の割合が19年度実績値の5.0%の増加。(27.8%)	ここ数年の事業への男性参加者の割合の推移を勘案し、10%(年2.5%)の参加率の増加を見込む。
達成率	86.0					
指標3	90.6	19	「よかった」と回答した人の割合が17年度実績の3.0%の増加。(93.8%)	21	「よかった」と回答した人の割合が19年度実績の3.0%の増加。(96.8%)	ここ数年の「よかった」と回答する人の推移を勘案し、6%(年1.5%)の増加率を見込む。
達成率	100.2					
指標4	100	19	事業の実施率が平成17年度実績の3.0%増加。(96.2%)	21	事業の実施率が平成19年度実績の3.0%の増加。(99.2%)	平成22年度までに、男女共同参画プラン21に掲載されている事業を100%実施する。(年間1.5%)の増加を見込む。
達成率	93.2					
指標5		19		21	「男女平等」と回答した人の割合が17年度実績の5.0%の増加。(40.3%)	市民意識調査は5年おきに実施しており、次回、平成20年度実施を予定している。その結果を踏まえ、平成17年度の実績値の5.0%の増加率を見込む。
達成率						

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.066で51施策の中で43番目。
 重要度は3.513で46番目である。
 改善要望度は - 0.1651で38番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は、20歳代、70歳以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位が下がり、重要度は大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、20歳代、70歳以上で前回調査より上がり、40、60歳代で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、70歳以上で前回調査より上がり、50歳代で下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 ② 1	目標の平均達成率は93.3%であり、ほぼ目標どおりの成果をあげている。
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 ② 1	事業の成果は、「さがみはら男女共同参画推進条例」の施行に伴い、「男女共同参画プラン21」の一部見直しや年次報告書の発行等、事業の向上が図られた。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	平均値と比較して、満足度が0.124%低く、重要度も0.358低い。
合計		5	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)
			1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	男女共同参画社会の実現に向けて、様々な意識啓発事業を実施することは、重要な課題であると考えますが、現在は興味・関心のある方の参加が中心である。
解決策	市民に広く普及・啓発するには、関心のない方や男性、事業所関係等への啓発方法等、効果的な事業展開を工夫する必要がある。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

指標についてはよく検討されているが、課題と解決策にあるとおり、課題の克服に努め、成果をあげる必要がある。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

